

子ども未来応援センター運営事業

—No.31 富士見市—

【事業の目的】

妊娠期から子育て期に至るまでの包括的な支援体制によるワンストップサービスの実現と、貧困の連鎖を断ち切り、全ての子供が夢に向かってチャレンジできるように、子ども未来応援センターを開設します。

【事業の内容】

- 不妊検査、治療の助成
- 妊娠届の受理、面接、相談等
- 出産おめでとうレター送付
- モバイルサイトによる子育て応援情報発信
- 子ども未来相談窓口の設置（貧困対策などの総合支援窓口の設置）
- 子ども未来コーディネーター、相談員の配置（個別事案の解決に向けた総合的支援体制の構築）

【事業年度】

平成 29 年度

【予算額(千円)】

41,031千円

【財源】

地域子供の未来応援交付金(国)、埼玉県不妊治療費等助成事業補助金(県)、子ども・子育て支援交付金(母子保健型)(県)、まちづくり寄附基金繰入金、一般財源(市)

【事業実施に至った背景・経緯】

これまでも「子育てするなら富士見市で」をスローガンに様々な子育て施策を行ってきましたが、「富士見市キラリと輝く創生総合戦略」において、子育て

て支援の充実は、人口減少を克服する観点から継続的に実施することが重要と位置付けています。その基幹事業である子育て世代包括支援センターの設置に向けた検討を進め、平成 29 年度の開設となりました。

【事業のPRポイント】

妊娠届受理のセンターへの一元化により、妊娠届時での保健師面接が可能となり、早い段階から妊婦のケアをできる体制を構築します。さらに、子育てへの不安感や孤立感の解消を目的に、身近な情報収集ツールであるスマートフォン等によるモバイルサイトを開設し、子育て中のタイムリーな情報配信や予防接種スケジュールシステムの提供を行っていきます。

また、富士見市は、地域子供の未来応援交付金を活用した県内初の「子どもの貧困対策整備計画」を平成 28 年度に策定しました。気付き、支援へつなぐ仕組みを具現化するため、子ども未来相談窓口を設置し、相談員や支援員を配置することにより、貧困をはじめ様々な困難を抱えた世帯の相談・支援をワンストップで行っていきます。

【今後の展開】

今後は、ファミリーサポートセンターや子育て支援センターなどの子育てに関する機関との連携を広げていく予定です。

さらに、教育相談室や養育支援、家庭児童相談室、子供を守る地域協議会など、教育機関や障害など福祉部門との連携・統合により、全ての子育てに関する相談・支援のワンストップ化を検討していきます。

〔 連絡先 〕

子育て支援課 049（251）2711（内線204）